

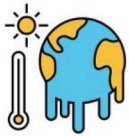


第 13 号

令和 6 年 3 月 発行

新しいライフスタイル委員会

かわらばん



地球の平均温度上昇を1.5℃未満に抑えるために

“ひょうご1.5℃ライフスタイル”を広めよう

2015年にパリで行われたCOP21において、地球全体の平均気温の上昇を産業革命以前に対し「2℃より十分低く」抑え「1.5℃未満に抑える」ために努力することを日本を含む世界が約束しました。また2020年には、国が「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ〈カーボンニュートラル〉にする」と宣言し、対策を強化しています。

兵庫県では、この「1.5℃目標」という大きな目標に向け、令和6年度から本格的に「1.5℃ライフスタイル」の普及啓発活動をスタートします。今回のかわらばんでは、私たちができる脱炭素型の生活に役立つ情報をご紹介します。



PARIS2015
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE
COP21-CMP11

あなたの「脱炭素生活度」セルフチェックシート



まずは、あなたの今の「脱炭素生活度」をチェックしてみましょう。
チェックの数が多い人ほど、脱炭素型の生活を実践できているといえます。

1	普段の移動は、自転車や徒歩、公共交通機関を利用している	<input type="checkbox"/>
2	休日の外出は、県内の施設やレジャースポットで楽しんでいる	<input type="checkbox"/>
3	家にいる時は、家族が一つの部屋で過ごしている	<input type="checkbox"/>
4	自宅の電球はLEDライトを使っている	<input type="checkbox"/>
5	家の中でも季節に合わせた服装をして冷暖房を最小限にしている	<input type="checkbox"/>
6	食べ残しをせず、バランスの取れた健康的な食事を心がけている	<input type="checkbox"/>
7	生ごみの処理にコンポストを利用している	<input type="checkbox"/>
8	マイボトルやマイ箸を持ち歩き、使い捨てゴミを減らしている	<input type="checkbox"/>
9	なるべく県内産の野菜や果物を買うようにしている	<input type="checkbox"/>
10	衣類や家電、家具等、身の回りの物を大切に長く使っている	<input type="checkbox"/>

移動や家庭でのエネルギー消費量を減らすことや、ものを大切にしてお金を減らすことは環境負荷の低減につながります。また、地元の農産物のように流通段階でのCO2排出量が少ない商品を選ぶことも、立派な脱炭素行動の一つなのです。

このように、「健康」や「節約」だけでなく、「温室効果ガスの削減につながる」という指標を取り入れた新しい生活様式「1.5℃ライフスタイル」を、ぜひ始めてみませんか。



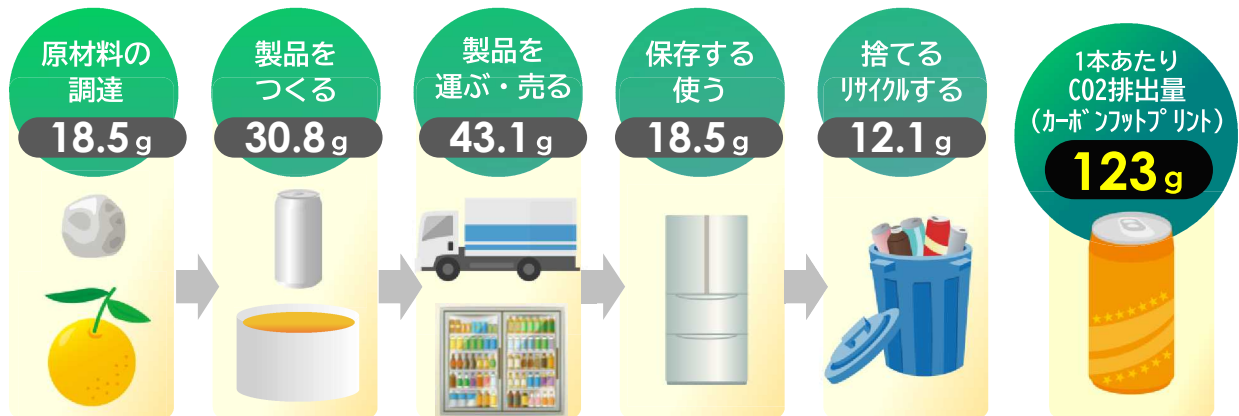
環境にやさしい買い物のために知っておきたい知識

炭素の足跡？「カーボンフットプリント」とは

カーボンフットプリントとは、直訳すると「炭素の足跡」。製品をつくり、運び、使い、消費する、全てのライフサイクルの過程で排出された「温室効果ガスの量」を合算してCO2排出量に換算したものです。温室効果ガスの削減につながる商品を買う際の、選択基準の一つとして注目されています。

【例】みかんの缶ジュース1本あたりのカーボンフットプリントは？

私たちがみかんジュースを「飲む」とき、その行為自体が環境に負荷をかけることはありません。しかし、みかんジュースを製造し、運び、冷やし、捨てる行程まで含めると、それぞれの過程で下の図のように、温室効果ガスが発生しているのです。



出展：経済産業省「カーボンフットプリントガイドブック2009-2011」

「温室効果ガスの削減につながる商品」を、どう見分けるの？

カーボンフットプリントが表示された商品はまだ少ないものの、商品表示やラベルをよく見ると、CO2排出量や削減効果が表記されている商品もお店に並び始めています。

県産品では、兵庫県産のお米「コウノトリ育むお米」と「ヘアリーベッチ米『花美人』」の2品目が、農林水産省の「温室効果ガス削減・見える化実証事業」の認定を受け、令和5年産米からラベルを付けて販売されています。これらの商品は、各JAのホームページよりご購入いただけます。

農林水産省 温室効果ガス削減の見える化ラベルとは
その地域の通常の栽培方法と比較した相対削減率を算定し、削減率に応じて★の数が決まります。
★ -5%以上、★★ -10%以上、★★★ -20%以上



JAたじま「コウノトリ育むお米」

なお、通常の栽培方法で育てたお米と比較した際の、温室効果ガスの削減効果は下記の通りです。

品名	温室効果ガス削減効果 (通常栽培方法のお米との比較)
コウノトリ育むお米	減農薬タイプ 約32%削減※ 無農薬タイプ 約23%削減※
ヘアリーベッチ米「花美人」	約55%削減※

※農地面積10aあたりの削減率



JAあかし ヘアリーベッチ米「花美人」



食品ロスを減らし、支援を必要とする人々の助けになる取り組み

ひょうごフードドライブの活動

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を持ち寄り、それらを地域の福祉施設等に寄付する活動のことで、県では令和2年度から「ひょうごフードドライブ」として活動を続けています。



食品の寄付
消費者



フードドライブ実施
スーパー・県庁舎等



回収・点検・分配
社協、フードバンク等



必要とする人々へ
子ども食堂・福祉団体等

フードドライブを知っている人は「約2割」 これからも県内全域で活動を展開していきます。

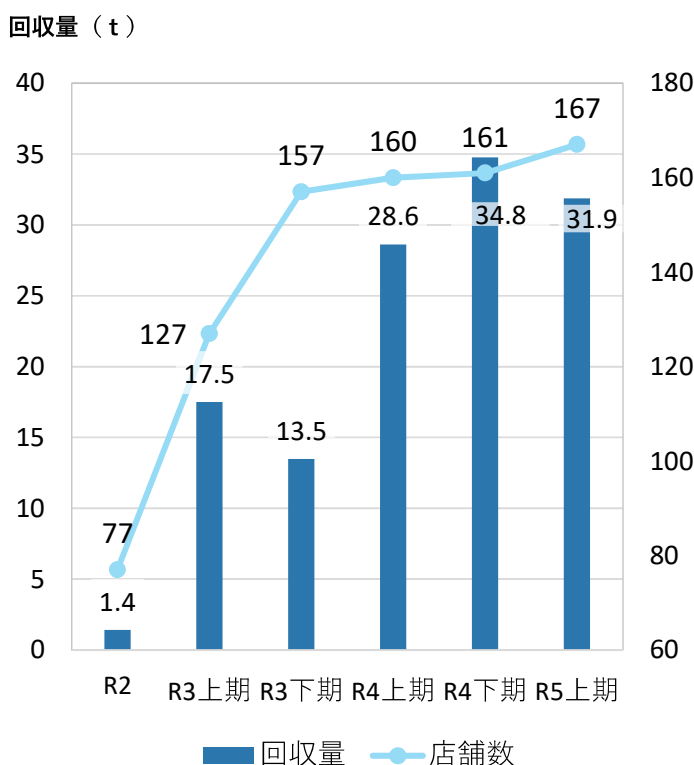
消費者庁の調査によると「フードドライブ」という言葉を知っている人は全体の約2割で、まだまだ多くの方への普及啓発が必要な状況です。

兵庫県では、県内の167店舗のスーパーでの定期的な実施に加え、県庁や各県民局・県民センターでのフードドライブイベントの活動も広がりを見せています。協力団体、実施回数の増加に伴い、寄付の量も着実に増え、令和5年度の4月～9月では、ひょうごフードドライブ推進ネットワーク全体で、約32トンもの食品ロス削減につながっています。

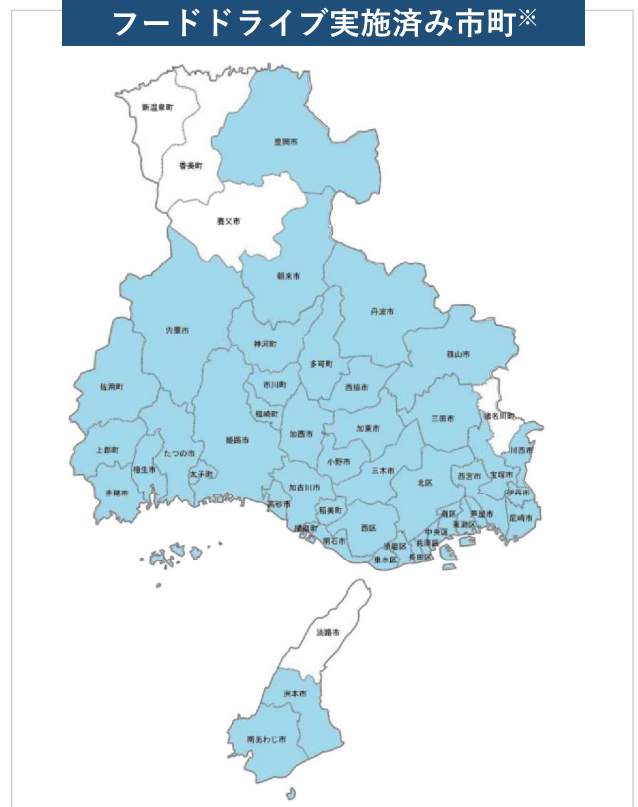


兵庫県本庁でのフードドライブ (R5.10.26)

参加店舗数と回収量の推移



フードドライブ実施済み市町※



※ネットワーク加盟スーパーでの実施に加え、各市町庁舎や社会福祉協議会等での実施も含む



環境保全・創造活動に取り組む県内事業者

第32回環境にやさしい事業者賞のご紹介

優秀賞

株式会社ソーイング竹内（多可郡多可町）

事業内容 繊維製品製造加工卸売

活動内容

- 食品加工の際に出る残さや規格外で廃棄される野菜を原料とした染色を施したエプロン、テーブルマット等環境にやさしい製品の販売により環境負荷低減に貢献
- 社員全員での地域内清掃活動を20年以上継続
- 本来廃棄される生地切れ端（綿100%）を回収し加工業者に提供することにより、工業用機械部品として再利用。播州織産地内の事業者にも回収を呼びかけ、産地内の循環型の産業スタイル実現に貢献
- 本社内に省エネ設備や自家消費型太陽光発電システムを導入。2021年度の電気使用量の57%を自家発電で賄い、月間では最大70%の自家発電を実現



賞

株式会社ニプロン（尼崎市）

事業内容

- ① スイッチング電源及びノンストップ電源とその周辺機器等の開発、製造、販売
- ② 太陽光発電設備とその周辺機器の設計、販売、監視、メンテナンス、コンサルティング

活動内容

- 駐車場スペースを活用し再エネを導入できる「ソーラーカーポートEV充電ステーション」を製品化。太陽光発電と蓄電池によるEVへの急速充電や災害時（停電時）の防災拠点としての非常用電源供給を実現
- 使えなくなった自社のバッテリー製品を回収しリサイクル業者に提供することで、新たなバッテリー材料とするリサイクル利用に貢献 等



賞

西播環境整備株式会社（姫路市）

事業内容

- ① 廃棄物収集運搬、廃棄物処分
- ② 廃棄物をリサイクルしたRPF（固形化燃料）の製造等

活動内容

- 従来ゴミとして認識されていた木くず、紙くず、廃プラスチックを資源レベルで捉え、RPFへとリサイクルさせることにより、循環型社会づくりに貢献
- RPFを製紙メーカーや鉄鋼会社等のボイラーで石炭やコークス等の化石燃料の代替燃料として使用することにより、CO2やSOX灰分等の減少に寄与 等



RPF（固形化燃料）